

# 令和3年度

## 木とふれあう環境づくり推進事業

令和3年度の助成状況について、一部ご紹介します！！

### ◆木育環境の整備

★紹介1：木の園児用机・椅子，木の知育玩具（パズル）（鹿児島市）

●事業主体

社会福祉法人 清豊福祉会 御所こども園

●助成額

1,463,000円

●県産材使用量

1.60㎡

●整備の概要

木育インストラクターが営む工務店と連携して、子どもたちが丸太にふれるところから製材・加工まで学びながら製作した「木の園児用机・椅子」や、オセロとして遊べる「木の知育玩具」を整備しました。それらを活用し、木製品のふれあいを通じて、木材への親しみなどを学ぶ「木育」に取り組んでいます。



木の園児用机・椅子



木の知育玩具（オセロ）



木育の取組（木にふれる）



木育の取組（木材を使ってつくる）



木育の取組（木をまなぶ）

## ◆木造施設等の整備（施設の整備）

### ★紹介2：ShopBot工房（鹿児島市）

- 事業主体  
株式会社 ベガハウス
- 助成額  
5,000,000円
- 県産材使用量  
21.16㎡
- 整備の概要

地域の方々や学生たちが気軽に木材の加工や組立ができる「ShopBot工房」を整備しました。木材を五感で感じられるよう現しで仕上げるとともに、自然光での作業ができるよう大きな窓を設置し、また、施設の屋根は全面芝生張りで景観に配慮するなど、人にも環境にも優しい施設となっています。



### ★紹介3：登山用品レンタルショップ「レンタルの山下」（屋久島町）

- 事業主体  
合同会社 レンタルの山下
- 助成額  
5,194,000円
- 県産材使用量  
20.36㎡（うちCLTの使用量：4.17㎡）
- 整備の概要

屋久島空港近くにバスの待合室やまちかど図書館と併設して、登山用品のレンタルショップ「レンタルの山下」を整備しました。屋久島地杉で建てられており、主要構造部の屋根には、CLTが使われています。地域の方々や多くの観光客が木のぬくもりや優しさを体感できる空間となっています。





## ◆木造施設等の整備（製品の設置）

### ★紹介4：デザイン性に優れた家具（西之表市）

- 事業主体  
一般社団法人 SUNDANKA
- 助成額  
2,851,000円
- 県産材使用量  
1.79m<sup>3</sup>
- 設置の概要

国の登録有形文化財にも指定されている遠藤家住宅に「折り紙」をイメージしたデザイン性に優れた家具を設置しました。地域の子供の学びの場やイベント会場など、様々な場面に合わせてテーブル等を組み合わせることができます。利用者が木に触れることを通じて、木の良さなどを学ぶことができますものとなっています。



テーブル・椅子等



本棚

## ◆木製品の開発及び普及（学生デザイン活用枠）

### ★紹介5：Linktable, Honeycombchair（鹿児島市）

- 事業主体  
鹿児島大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 鯨坂研究室
- 助成額  
1,000,000円
- 開発の概要

連結用の間仕切板により、個別ワークスペースとしても利用できるなど、様々なレイアウトに変化するテーブルや、収納時にはデザイン性あふれる本棚としても使用できる椅子を開発しました。製品に焼印されたQRコードをスマホで読み込むと、完成までの工程や設置場所などの情報を得ることができます。



Linktable（テーブル）



Honeycombchair（椅子）

QRコード



木とふれあう環境づくり推進事業